

令和5年度 学校評価（自己評価）集計結果

⑤を5点、4を4点、3を3点、2を2点、1を1点として、平均を算出し、四捨五入して点数を表示した。

(1) 教育理念・学校教育目標（校長） 4.4

①	学校の理念、目的、望ましい学生像が定められているか。		4.6
②	学校における職業教育の目標が明確か。		4.6
③	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。		4.3
④	学校の理念、目的、学生像、将来構想等が学生・保護者に周知されているか。		4.1

課題等

・適切である。(3)

① ② ③ は明確。④ は保護者向けのフライヤー（チラシなど）などがあると良いのでは？
保護者への情報の発信の仕方。(2)

改善方策等

④ については、HP で発信していると思うが、入学式でも周知する。
入学式にしか来校されない保護者もいると思います。紙でのお知らせをデータ配信に映える等、アピールの機会が増えると良いと思う。

(2) 学校運営（事務） 4.0

①	経営方針に沿った事業計画が策定されているか。		4.2
②	運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか。		4.0
③	人事、給与等に関する規定等は整備されているか。		3.9
④	教務・事務等の分掌組織、意志決定システムが整備されているか。		4.0
⑤	教育活動に関する情報公開が適切にされているか。		4.4
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。		3.6
⑦	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか。		3.9
⑧	指導力を備えた教員（本務・兼務）の確保に努めているか。		4.2

課題等

② ④ については、まだ改善すべき点があると思う。

⑧ は常に人員が足りない状態。（世代交代を含む）
ペーパーレス化

東京出張の宿泊費が8000円で厳しい。

必修科目の講師のバックアップ

規定やシステムがあっても形骸化している。

業務の効率化をはかれるシステムがあるのではないかと思う。(2)

今の時代に業務を行う上で、一人1台のPCは常識。資料を作るにもPCが無ければ作れない。蓄積された資料を参照するにもPCが無ければできない。一人1台のPCは必須である。

改善方策等

② , ④ については事務長の発言について度々思うところがある。教務に関わりすぎない方が良い。

⑧ は少しずつ実務経験を積んで活躍を期待している。各科1名ずつ増員が必要。

ここ数年コロナ等公欠の扱いが変化していて業務の手間が多くなっている。

研修に参加し、文化、運営の資格を取得してもらう。

経営陣による見直し、チェック。

学校と学生、保護者間のスムーズな連絡システムの導入は急務だと思う。

(3) 教育活動・教育環境（教務） 4.1

①	学校教育目標・指導要領・学則等に基づいた教育課程が編成されているか。		4.5
②	学科の到達レベルや学習時間の確保は明確か。		4.1
③	実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。		3.8
④	理・美容部会が機能し、教育活動の改善が図られているか。		4.1
⑤	授業評価の実施・評価体制が図られているか。		4.1

⑥	成績評価、単位認定、進級・卒業の基準は明確か。		4.4
⑦	資格取得に関するカリキュラム、指導体制は整っているか。		4.4
⑧	教員が先端的知識・技能等を習得するための研修等の取組が行われているか。		3.9
⑨	学校行事等、適切に立案され実施されているか。		4.6
⑩	施設・設備は必要性に対応できるよう整備されているか。		3.9
⑪	防災体制は整備されているか。		4.4
⑫	生徒指導の重点（挨拶・マナー・後始末）が適切に実施されている。		3.5

課題等

後始末（掃除）ができない学生が多い。
 ⑫は徹底されていない。。まずは教員が手本となって、改善する。
 中理美は、お金さえ払えば卒業できるらしい、と言うイメージがあるらしい。基準は明確だが、学生の認識としてはかなり甘い印象を持たれている。
 実習時間の確保が日ごとに難しく、計画を立てるのが厳しい。レポート提出で単位確保は良いが、きりが無い。
 必修、選択教科のレポートのあり方。
 防災について、飲料水の備蓄。ヘルメット等の数量など。
 各部会が報告会になっている。
 研修会に参加し、幅広い社会のニーズに対応できる学生を育てることが大切。
 施設設備が更新時期に来ていると思うので、計画的に進めていく必要がある。
 クラスによって指導が違うように思う。
 ⑫はできていない学生が多い。

改善方策等

掃除のやり方を学年の始めに時間を取って、具体的に（鏡を拭いて、アルコールスプレーを掛けて・・・）教える。
 日々の片付けや、ルール、マナー、挨拶については、学生による違いを少なくし、習慣化したい。
 挨拶については、教職員、事務職員共に明るく爽やかなトーンを常に心がけて欲しい。
 補講が難のためにあるかを理解し、登校するための努力。（補講は理由無く欠席をするためのものではない、と言うことを学生に理解して欲しい。）
 進級認定等の基準を学生にアナウンスして、危機感を持つようにする。
 レポートの上限を学則に沿って決めたい。
 部会への管理職員の参加（数回に一度でも）
 幅広い教養、技術の取得のため、積極的に教員の研修会への参加が必要。
 整理整頓とだれにでも挨拶ができるようになると良い。

(4) 学生支援

4.2

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。（教務）		4.4
②	学生相談に関する体制は整備されているか。（生徒指導）		4.3
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。（事務）		4.1
④	学生の生活環境への支援は行われているか。（生徒指導）		4.1
⑤	保護者と適切に連携しているか。（生徒指導）		4.3
⑥	卒業生への支援体制はあるか。（生徒指導）		3.8
⑦	高校等との連携による職業教育等の取組状況はどうか。（広報）		4.3

課題等

⑤ は、なかなか連絡がつかないご家庭があり、折り返しもない。
 カウンセラー等への相談案内
 ⑦ についてはコロナ規制緩和後、以前より活発に行われて良いと思う。
 適切である。
 卒業生への支援。

改善方策等

⑤ は各自でHP やインスタを見ていただくように周知する。連絡のつかない家庭に対応できるようなツールがないか検討したい。
 卒業生への支援までつながることは難しくとも、在校生への連絡システムが導入されれば、卒業生への連絡もスムーズになるのではないかと思う。それが支援につながると思う。

(5) 広報・募集活動（広報）

4.3

①	広報・募集活動は重点化・効率化が図られ適正に実施されているか。		4.3
②	広報・募集活動を支援する職員体制ができているか。		4.3
③	広報・募集活動では、教育成果が適正に伝えられているか。		4.3
課題等			
広報専任の職員の不足 広報人員の定着 適切だと思う。広報活動の成果が入学者にも反映していると思う。 適切である。			
改善方策等			
専任の人数を増やす			

(6) 法令等の遵守（事務）

4.4

①	法令・専修学校設置基準・就業規則等の遵守と適正な運営がなされているか。		4.5
②	個人情報の保護対策がとられているか。		4.4
③	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか。		4.3
④	自己評価結果を公開しているか。		4.4
課題等			
情報企画等で今後も計画が必要。 適切である (2)			
改善方策等			

(7) 社会・地域貢献（生徒指導）

3.8

①	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を実施しているか。		3.7
②	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。		3.8
課題等			
社会・地域への貢献はもっとできるのではないか。（コロナ禍による児童館や老人施設との連携ができなかった）外部ボランティア等への参加 今、できる範囲での活動をしていると思う（校外清掃等） 2F サロンの活用方法は難しい検討内容だと思う。 施設の活用。ボランティア奨励について。			
改善方策等			
ゴミ拾い等では貢献できていると思う。施設を活用することで、地域の方々に貢献できることを検討する。 外部での活動には、多少費用がかかる。 案内の強化。 サロンについて、平日の昼間は授業の都合で難しい、と断ってきたが、このままで良いか？ タイミングがあれば、活用しても良いのでは？			

(8) 学校運営について

<p>今後、国家試験にマツエクが入ってくるので、マツエクの経験者を教員として欲しい。 授業アンケートを採るときに、事務の台頭についてもアンケートの項目に入れて欲しい。 今年度にかけて情報企画を充実させ、授業進め方等をもっと格上げしたいと思う。また、所表簿関係を電子化させ、教員負担を軽減したい。 教職員の中に人によって態度が変わる方がいる。どの教職員に対しても同じように対応して欲しい。 新しい教員が増えてきているので、クラス運営においてフォローをしっかりしたい。 学生が増えたとやれることが増え、減少すると減る。退学者が出るとまた減る。何かを我慢しなければならぬ。このまま学生数が減少しないことが目標です。 優先順位間違えないように努力します。 昨今の値上げラッシュで、さまざまな値段が上がっているが、学生数の確保のため、広報の予算はしっかりと確保していくことが重要だと思う。 "今まで通り"をいつまで貫くか？時代とともに変わることも出てくる。 全てのことにに対して、できないからやらない、の姿勢から、新しいことに挑む（取り組む）アップデートできる考えを持ち続けて、新しいものを導入して欲しい。</p>			
--	--	--	--

令和6年度学校関係者評価委員会報告書

- 1 日 時 令和6年7月1日(月) 13時00分～14時10分
- 2 場 所 SENDAI 中央理容美容専門学校 3階会議室
- 3 出席者 学校関係者評価委員
兼重 康浩、柳澤 邦充、矢子 浩次郎、遠藤 千代子
本校関係者
横橋 健、品川 真里子、櫻井 江利子、後藤 和幸
- 4 欠席者 伊藤 貴章
- 5 審議内容
 - ① 令和6年度学校経営方針について
 - ・学生一人一人を大切に指導する姿勢を常に心がけている。また、学校全体での研修を実施し、教員としての資質向上に努めている。
 - ・近年、入学生が伸びていることは学校教育の充実、学生の満足度によるのではないかと考えている。毎年実施している学生満足度調査では、80～90%の学生が本校の教育に満足しているという結果が出ている。しかし、今後も入学生増加が見込まれる可能性は小さく、より良い組織を作り、また広報活動の重点化を図り、入学生確保に更に力を入れていきたい。
 - ・電子黒板、カメラ等 ICT を導入し、わかる授業に努め、より良い指導を行っていきたい。
 - ② 令和5年度学校評価（自己評価）について
概ね4以上の評価である。良好な学校経営がされているのではないかと考えている。
 - (1) 教育理念・学校教育目標
 - ④ について、学生には教育目標を教室に掲示し、日々の生活の中で学生第一の教育していることを話し、そして実践している。また、保護者には入学式式辞などで周知している。また、学生、保護者への連絡ツールとして GoogleClassroom の導入を検討している。
 - (3) 教育活動・教育環境
生徒指導の重点である「挨拶・マナー・後始末」を根気よく声掛けをしている。ICT を活用し、効果的に授業を行うことができるよう整備している段階である。
 - (7) 社会・地域貢献
地域貢献活動として校外清掃、歩道などの除雪作業を実施している。地域の方々に認知されてきていると感じている。より地域との連携を図っていきたい。
 - ③ 学校評価（自己評価）に対して検討・提言
 - ・概ね良好な学校運営が行われている。
 - ・ICT 導入については、それに伴う資料作成や機器操作の研修等必要であろうが、有効活用しより良い授業を行っていただきたい。
 - ④ その他
 - ・オーナーとしては即戦力になる人材を求めている。シャンプーなどにはいろいろな方法がある。学校でいろいろなやり方があることを教えてもらえると、就職先のやり方に柔軟に対応でき、即戦力になることができるのではないかと考えている。